

▶授業の目的と概要

企業経営において、数量的な分析をベースとして問題を解決し、科学的基礎に基づいた計画・意思決定を行うことは重要な課題のひとつである。この授業では、生産、販売、投資の問題を題材として、需要予測や在庫管理に関連する確率や統計の理論、経済的に有利な案を選択する理論や数理モデルの作り方を紹介する。

例題で解説する数理モデルの作り方や取り扱い、さらに関連する問題を実際に解くことを通じて、問題を数式で表現し最適な解を計算によって求めるといった、オペレーションズ・リサーチの手法や問題解決の為の基本的な考え方を身につけることを目標とする。

※原則として対面で実施するが、新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、オンラインで実施することもある。オンラインで実施する場合には原則として Zoom を用いる。

担当教員	経済学部 内藤 雄志 准教授
開講曜限	木曜日 2 限 (10 : 30～12 : 00)
開講日	4 月 13, 20, 27
	5 月 11, 18, 20, 25
	6 月 1, 8, 15, 22, 29
	7 月 6, 13, 20
講義資料	講義資料は、原則として毎週水曜日（授業予定日の前日）13 時までに、SULMS（滋賀大学・学習管理システム）に掲載する。対面授業の場合は、希望者にその回の分を印刷したプリントを配布する。参考書は、講義資料に掲載する。 <補足情報> 予習をしたい方、欠席された方には SULMS に講義資料と投影資料の PDF ファイルを掲載。必要に応じて授業や SUCCESS で指示する。